

タイ王国の皆様へ

本年夏以降、チャオプラヤー川流域で発生した河川氾濫・洪水で犠牲になられた多くの命、そしてまた今なお避難生活を余儀なくされている多くの方々に、心からお悔み申し上げます。

我が国においても、今年3月に発生した東日本大震災では、1万5千名以上の死者、未だ3千人以上の行方不明者がでるといった甚大な被害が発生しました。私たち自身そのあまりの被害の大きさに打ちひしがれている中、貴国からいち早く大規模な訪日視察団を派遣いただき、被災地へのご支援、そして日本国民へのあたたかい激励をいただきましたことを、本当に嬉しく思いました。現在、我が国は世界中からの力強い支援を得て、急ピッチで復興を進めておりますが、貴国からの訪日旅行客回復は、それを牽引する大きな原動力の一つとなっております。日本における観光政策全般をつかさどる立場にある者として、貴国からのこれまでのご支援に対し、改めて感謝申し上げます。

洪水や地震・津波といった、あまりにも大きな自然の力に対し、その瞬間、私たち人間はその無力さにただ言葉をなくし、茫然と立ち尽くすしかありません。しかし時が経ち、改めて思うことは、幸いにしてその犠牲から免れた者として、犠牲になられた多くの尊い命にかわり、せめてよりよい世界を築くために真摯な努力を重ねていきたいということです。そして、このような危機の中から生まれた人間同士のかけがえのない絆が、国境や人種・民族を越えて人々が手を取り合い、心を寄せ合うことで生まれる力が、よりよい世界・よりよい未来を創ることにつながると確信しております。

貴国と我が国は、歴史的にも長く深い関わりを持ち、現在の産業・経済の繋がりからも、相互信頼に基づく親密なパートナーシップで結ばれていると考えます。そして、この関係は観光による相互の人的交流においても何ら変わることなく、国民個々人の交流を生む観光こそが、より深い両国の相互理解・関係強化につながるものと考えます。

今回、私たちは、訪タイ日本人客の回復・拡大に向けた具体的な施策の検討を促進するため、観光庁アウトバウンド責任者、日本政府観光局、日本旅行業協会の責任者からなるミッションを派遣し、貴国の最新情報の把握と、観光・スポーツ省、タイ国政府観光庁、タイ旅行業協会のご関係の皆様との意見交換をさせていただきました。

貴国は、今回被災されたバンコク・アユタヤなどの地域も急ピッチで回復が進んでおり、またこれらの地域に限らず、プーケット・クラビなどのリゾート、チェンマイ・カンチャナブリーなどの歴史・文化・民族遺産の他、タイ料理やマッサージ・スパなど、我が国でも人気の高い観光地・観光資源の豊かな国です。今回の視察では、洪水被害からの回復状況や、タイ国内各地の観光に関する最新情報を得ることができました。今後、これらの情報をもとに、日本国内における情報発信・プロモーション等の訪タイ日本人観光客拡大に向けた具体策の検討を加速させてまいりたいと思います。また、我が国のインバウンド需要は、東日本大震災の後に急速に回復しつつあり、そのために我々が講じた様々な方策について、情報提供をさせていただきました。この情報が貴国への観光需要の回復にお役に立てば幸いです。

貴国の災害からの復興に向け、私たちは、官民一体となって観光面からの支援に取り組んでまいり所存です。

「観光」は、我が国の言葉では「光を観る」と書きます。今なお災害の被害に苦しむ方々が一日も早く平穏な日々を取り戻し、光り輝く未来・希望・夢を見られる日が訪れることを、心よりお祈り申し上げます。

2011年12月14日
国土交通省観光庁長官
溝畑 宏